



素晴らしいアジサイの花を

校長 浅見 正史

6月の梅雨の時期に咲く花、アジサイを知っていますね。アジサイの花は実に不思議な花だと思えます。同じような小さな花が集まっているようでありながら、よく見ると一つひとつ小さな花が、微妙に色合いが違い、また土の酸性度によっても花の色が変わり、それでも見事な花を咲かせるアジサイを見ていると思うことがあります。アジサイの花はそれぞれのクラスに似ていませんか。いろいろな個性を持つ人がいて、考え方も違うけれど、それぞれのクラスが4月から少しずつまとまり、輝き、アジサイの花のようです。

さて、6月は1年間の中でいじめが発生しやすい時期だと言われています。令和3年度、文部科学省の調査では、全国小・中・高等学校のいじめ認知件数は61.5万件（前年度比19%増）でした。いじめはどの子どもにも、どの学校でも起こりうる。そして、いじめは卑怯な行為である。だから、いじめは絶対に許されない。いじめの被害を受けた子どもは絶対に守ることが本校の基本姿勢であり、いじめ対策委員会という組織でしっかり対応していきます。

改めてどんなことがいじめにあたるのか。

- ◆言語的攻撃…悪口や噂を流す。冷やかしかからかい。誹謗中傷のメールを送る。など。
- ◆身体的攻撃…たたく、ける、なぐる。わざとぶつかる。足をかける。など。
- ◆社会的攻撃…仲間はずれ。集団で無視。机をはなす。など。

いじめのつもりではありませんと言っても、これらは全て心や体に苦痛を感じることです。まさにいじめです。本校でも心や体に苦痛を感じている人がいるかもしれません。どうしていじめが起こるのでしょうか。どうすればいじめを止めることができるのでしょうか。どうすればいじめを見過ごさない学校・学級の雰囲気をつくれるのでしょうか。お願いします、辛い思いをしている人をなくしましょう。そのためには、みなさん一人ひとりの力が必要であり、いじめをしない取組や相手を思いやる気持ちを考えて、行動をしてください。

6月はさいたま市立学校で「いじめ撲滅強化月間」として、いじめの未然防止に向けた取組が行われます。本校でも校長講話、各学級でのいじめ撲滅スローガンづくり、生徒会によるいじめ撲滅を目指したキャンペーンなどを実施します。保護者や地域の皆様も、この活動にご理解とご協力をいただき、何か気になることがあれば学校に連絡をお願いいたします。

6月は行事も多くありますので、各学級で素晴らしいアジサイの花を咲かせましょう。